

Four Seasons

WINTER No. 123
2023

- 特集Ⅰ
「鉄道とエキナカと労働組合の歴史(後編)」
- 特集Ⅱ
「働きながら介護を続けるコツ 第3回」
- ユニオン通信
「2021年度決算報告」
- 投稿企画
「分会三役の新年の抱負!!」



新年あけまして おめでとうございます

この1年がみなさまにとって
より良き年になりますことを祈念いたします

今年もよろしくお願いいいたします

JR東日本 クロスステーション労働組合

執行委員長	平野 智也
執行副委員長	角田 恵梨
執行副委員長	中島 周一
書記長	樋口 北斗
執行委員	御囲 真幸
執行委員	澁谷 真一
執行委員	高橋 剛
執行委員	宮地 博道
執行委員	柏村 朋哉
執行委員	有吉 映
執行委員	菊池 智則





執行委員長
平野 智也

みなさんと話を増やすことを意識して活動をおこない、
みなさんにとって働きがい・やりがいを持つる会社や職場にするために、
働くうえで抱えている問題・課題の解決・解消にむけてとりくみます。

組合員のみなさん、新年あけましておめでございます。

要員の問題を抱えるなか、それぞれの職場で奮闘いただいていることに加え、クリスマスや年末年始の繁忙期には、本社や支店等からも多くの支援がおこなわれるなど、全社一体となって、収益・利益の確保にむけてとりくんでいただいたことに御礼申し上げます。

この年末年始は、慌ただしいなかでも、ご家族や友人との時間を過ごしたり、一年間頑張った自分へご褒美をあげるなど、少しでも心身ともにリフレッシュできましたでしょうか。気持ちを新たに一年のスタートが切れていることを願うばかりです。

さて、昨年の2022年は、みなさんにとってどんな一年だったのでしょうか？

日本漢字能力検定協会が発表した2022年の世相を表す漢字は「戦」でした。選定の理由は、ロシアのウクライナ侵攻により「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした一年であり、円安・物価高による生活上での「戦」い、W杯などスポーツでの熱「戦」・挑「戦」も注目されたこととしています。

身近なところに目を向ければ、夏には新型コロナが過去最大の感染拡大となり、JR-Crossで働くみなさんやそのご家族にも多くの罹患が発生していました。そのようななかでも、よりウィズコロナを意識した生活や働き方が求められる年となりました。また、JR-Crossでは、鉄道開業150年、JR東日本の新幹線周年イヤーであったことは大きなトピックスであり、さまざまにとりくみがおこなわれました。

私たちJR-Cross労組では、コロナの感染状況を踏まえつつ、少しずつリアル（直接対面形式）な活動を再開する一方で、オンラインによるとりくみを加速させるなど、みなさんとのつながりを強化するとりくみを進めてきました。そして、奇しくも年末一時金交渉において、会社回答が遅くなったことが、私たちのオンラインによるとりくみを加速させるきっかけとなりました。

このようなとりくみをおこなうなかで、私たちは、コロナ禍で話をする機会が減ってしまったことによる影響を大きく感じるようになりました。具体的には、少しずつ対面して話をする機会を増やしたことで、対面だからこそ聞ける話があるとあらため

て感じた一方で、組合員のみなさんが人と話す機会が減ったことで、「自分がやっていることが本当に正しいのか、意義があるのか……」ということが見えなくなってしまい、疑問や不安、そして不満を抱えることにつながってしまっているのではないかと感じました。このことが、ここ最近、JR-Crossにおいて休職者や離職者が増えてしまっている一因ではないかと思っております。

実際に私たちの年末一時金におけるアンケート調査においても、回答者の約4割が、「会社の将来に不安を感じている」と回答していました。「会社の将来が不安」＝「自分の将来が不安」となりますので、JR-Crossにとって危機的な状況であると思っています。

このことから、私たちは、今年一年、みなさんと話をする機会を増やすことを意識して活動をおこない、みなさんにとって働きがい・やりがいを持つる会社や職場にするために、働くうえで抱えている問題・課題を解決・解消にむけてとりくみます。

その入口である、対面してみなさんと話をする機会を増やすための新たなとりくみとして、部署や職場ごとの少人数での意見交換会を「しゃべり場ユニオン」という名称でおこないます。私たちとしては、「しゃべり場ユニオン」を重要なとりくみであると位置づけていることから、コロナの状況を踏まえつつ、順次開催することとします。ぜひご参加ください。

また、2023年は、対面で集まる機会も増やしていきますが、ただ単にみなさんに集まっていたくことを求めるのではなく、みなさんそれぞれが“自分に合ったかたち”で参加する場を選択できるようにするために、リアル（直接対面形式）とオンラインのハイブリットな環境をつくっていきたいと思っていますのでご期待ください。

会社の業績は確実に回復傾向にあり、みなさんの頑張りが成果としてもあらわれてきています。私たちJR-Cross労組は、みなさんの頑張りが報われるよう労働組合としての役割・責務を果たしていきます。

新しい年が、JR-Crossと組合員・従業員のみなさん、そして私たちJR-Cross労組にとって素晴らしい年となることを祈念するとともに、みなさんご家族の健康を祈願して新年のごあいさつとさせていただきます。

鉄道150年記念企画

後編 鉄道とエキナカと労働組合の歴史

前号では、鉄道150年記念企画の「前編」として、鉄道だけではなく、駅構内営業等事業(エキナカ)と労働組合の歩みも織り交ぜながら、1987年の国鉄の分割民営化(鉄道弘済会の分離別会社化)に至るまでのそれぞれの歴史を取り上げました。

今号では、国鉄の分割民営化以降現在に至るまでの約35年間の歴史を「後編」として取り上げます。



1987年(昭和62年) 東日本旅客鉄道(株)設立

国鉄の分割民営化に伴い、長野鉄道管理局、新潟鉄道管理局及び東北・関東地方の各鉄道管理局が管理していた鉄道事業を引き継いで東日本旅客鉄道(株)(以下:JR東日本)が発足した。

JR東日本は発足初年度に年間で経常利益766億円の好決算をあげることができ、毎日50億円の赤字を出していた国鉄時代とは様変わり取支構造となった。こうした経営環境の改善を受けて、JR東日本は新車の開発や新しい路線の開発など積極的な投資に乗り出していくこととなった。



JR東日本のコーポレートカラーは、東北新幹線200系のラインカラー(線14号)に近い色合いとされた。

1987年(昭和62年) 東日本キヨスク(株)設立

国鉄の分割民営化に伴い、鉄道弘済会の収益事業のキヨスク部門も地域分割され、6旅客会社それぞれの子会社としてスタートすることになり、JR東日本管内では東日本キヨスク(株)が発足した。従業員約6,000名(うち店舗従業員数約4,500名)、店舗数約1,750店舗でスタートし、初年度の売上1,799億円の95%がキヨスク店舗の売上であった。

また会社発足に際し、鉄道弘済会が収益部門を一気に失うことによる影響に配慮して、新宿及び大宮営業所を鉄道弘済会に残すという激変緩和措置を講じていたが、その後、1988年に新宿営業所、2001年に大宮営業所が譲渡され、鉄道弘済会は売店事業から完全撤退した。



東日本キヨスク創設期の主力であった、レッツキヨスク売店

1987年(昭和62年) 東日本KIOSK労働組合発足

鉄道弘済会のキヨスク部門の分離別会社化に伴い、鉄道弘済会労働組合をその対応する組織とするために、連合体組織である鉄道弘済会・KIOSK労働組合に組織変更したことから、鉄道弘済会労働組合の東京支部・信越支部・東北支部を母体として、東日本キヨスク(株)で働く労働者で、東日本KIOSK労働組合へ改組した。初年度の単組執行部は14名、そのうち専従役員は8名の体制であった。また、活動方針の1つ目は「Kioskを閉店させないとりくみ」であり、日常活動を進めるにあたっては単組と密接に連絡をと

り合いながら、「みんなで問題解決する」ことを基本にとりくむとしていた。

発足当初の労使関係は、労働組合敵視策が会社の姿勢であり、鉄道弘済会から継承した労働条件を一方的に変更した就業規則を作成、提示されるなど、鉄道弘済会時代の労使関係をすべて見直すという最悪のものであった。その後、この姿勢には変化が見られたとしているが、当時の執行部の苦勞はいかばかりであったのか…。



第17回定期大会(2003)

1988年(昭和63年) 四国・北海道が線路でつながる「一本列島」

3月13日の青函トンネル開業と4月10日の瀬戸大橋開業によりJR各社の路線が全て線路で結ばれることとなった。この時、JRグループで作ったキャッチコピーが、「レールが結ぶ、一本列島。」であった。JRグループ全体でダイヤ改正をPRするテレビCMを放映したのは後にも先にもなくこの時だけであった。

なお、青函トンネルと瀬戸大橋は、将来新幹線が通せるように配慮して設計されており、青函トンネルは後述する北海道新幹線の開業により日の目を見ることとなったが、瀬戸大橋は現在も在来線のみで運用となっている。



鉄道道路併用橋として建設された瀬戸大橋

1989年(昭和64年・平成元年) JR東日本駅案内サイン標準デザインを企画

国鉄時代の駅案内サインは、鉄道揭示基準規程によって全国的に統一されていたが、曖昧なデザインの指定のみであり、設置場所やサインの案内内では厳密に規定していなかった。国鉄分割民営化時、JR各社では国鉄で定めた鉄道揭示基準規程を引き継いだ。JR東日本は1989年の新宿駅サイン計画で、膨大な情報を統一的な造形モチーフと表示システムで整理し、適切な場所に必要情報を提出することで、わかりやすく快適な駅空間を実現することとした。このサインシステムは、JR東日本の標準デザインと



JR東日本管内の駅案内サイン(信濃町駅)

1987	1989	1991	1992	1993	1996	1997	1999	2001	2002	2003	2004						
東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)設立	東日本キヨスク(株)設立	東日本KIOSK労働組合発足	JR東日本駅案内サイン標準デザイン制定	東北新幹線東京～上野間開業	新系列列車901系(209系)試験走行開始	山形新幹線福島～山形間開業	スタッフ社員の組合員化	ジェイアール東日本コンビニエンス(株)設立	秋田新幹線盛岡～秋田間開業	北陸新幹線(長野新幹線)高崎～長野間開業	山形新幹線山形～新庄間開業	JR東日本が非接触式ICカード自動改札システム「Suica」導入	J&Cと「ニコン」を統合、NEW DAYS 誕生	JR東日本が非接触式ICカード自動改札システム「Suica」導入	東北新幹線盛岡～八戸間開業	株)JR東日本ステーションリテイリング設立	九州新幹線新八代～鹿児島中央間開業
■ 鉄道に関する出来事	■ エキナカ(主にJR-Cross)に関する出来事	■ JR-Cross労組に関する出来事															

なり、1990年には「JR東日本デザインマニュアル」が作成され、これに準じて東日本管内の駅の案内標は更新されていった。2001年にはデザインマニュアルは大幅に改訂され、「JR東日本案内サインマニュアル」が制定された。

1992年(平成4年)901系(→209系)導入開始

国鉄時代に大量配備されていた通勤型電車である103系の老朽化による置き換え時期が近づきつつあるなかで、経済事情の変化や民営化に伴う開発費及び製造費用削減の必要性から、新しい設計思想に基づく新世代車両の開発がおこなわれ、1992年に試作車として901系10両編成3本(30両)が登場し、京浜東北線・根岸線で試用された。



現在は房総半島に配置転換され活躍している209系電車

その後、試作車である901系の車内設備に関してお客さまにハガキによるアンケートを実施しニーズを把握したうえで、量産車の209系が開発された。209系は「グッドデザイン商品」の輸送機器部門賞を受賞したが、それまでの受賞例は全て自動車であり、鉄道車両としては初の受賞となった。209系はJR東日本における新系列車両の始祖といえる。

1993年(平成5年)スタッフ社員の組合員化

人手を必要とする企業性格と効率的な要員運用という面から、会社化以降、従業員に占める正社員以外の従業員の割合が年々高まる傾向にあったが、そうした正社員以外の労働条件については、適正な雇用契約がなされていないことや就業規則が未整備であるなど、雇用の不安定性や不明確さが実態としてあった。このことから、雇用不安の解消や労働条件の維持・向上を目指し、あわせて組織体制の整備を図るために、正社員以外の従業員の組合員化にとりくむこととした。

組合員化にむけては、東日本エリア全域で職場オルグを開催し、対象となる方から理解を得たうえで、3月開催の第12回単組委員会においてスタッフ社員等の組合員化を採択。会社へ要求書を提出した結果、4月1日より、1,645名のスタッフ社員等が組合員として加わった。

あわせて、スタッフ社員等の処遇改善にむけて、昇給考課や精動手当の時間数、時間外労働手当に関する労働時間の捉え方などについて、会社と協議をおこない、7月より新制度へ移行したうえで、1年間は試行期間として労使で問題点を都度、協議・改善していくこととした。

2001年(平成13年)Suicaの導入開始

JR東日本は、磁気カードよりも自動改札の通過速度を速くし、利用客の流れがよりスムーズになることをメリットとして、発足当初からICカードシステムの開発を開始した。1996年からICカードを使用した汎用電子乗車券の開発プロジェクトが官民一体となっておこなわれ、2000年には、交通系ICカードの共通規格が制定されたことを受け、JR東日本では、2001年にこれに準拠した交通系ICカード「Suica」のサービスを開始した。

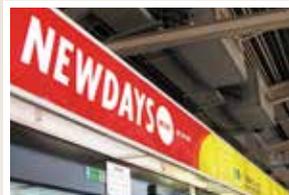
その後、Suicaは、単なる交通利用の用途にとどまらず、ショッピングにも使えるようになり、2004年に電子マネーの利用開始、2006年には携帯

端末で使える「モバイルSuica」のサービスを開始した。2013年には全国の事業者が共同して相互利用サービスを開始し、Suicaも「交通系ICカード」のひとつとして、全国で利用可能となった。

Suicaの名称は、「Super Urban Intelligent CARD」の略語とされ、「スイスイ」行ける「IC」「CARD」などの意味も込められている。なお、2021年3月現在のSuicaの発行枚数は8,589万枚、モバイルSuicaも1,410万枚に達している。

2001年(平成13年)「JC」と「mini コンビ」を統合、「NEWDAYS」誕生

ジェイアール東日本コンビニエンス(株)と合併及び(株)ジェイアール東日本商事のコンビニエンス部門を事業統合したことにより、東日本キヨスク(株)が展



当初はBY KIOSKと明記されていたNEWDAYS店舗

開していた「mini コンビ」とジェイアール東日本コンビニエンス(株)を展開していた「JC」を統合し、「NEWDAYS」「NEWDAYS MINI」という名称に一新した。名称には「駅からはじまる新しい毎日」という意味が込められている。合併時の店舗数は、「JC」82店舗、「mini コンビ」156店舗の合計238店舗であった。

2003年(平成15年) (株)JR東日本ステーションリテイリング設立

JR東日本は2003年に駅構内開発のための専門会社として、(株)JR東日本ステーションリテイリングを設立し、マーチャンダイジング、取引先の選定、売り場マネジメント、販売促進や鉄道施設を含めた駅の環境計画までを一貫しておこなう駅ナカビジネスモデルを構築した。このビジネスモデルは「駅構内開発小売業」と呼ばれるようになり、2005年3月に第1号として、大宮駅に「エキュート大宮」をオープン、同年10月に品川駅に「エキュート品川」がオープンした。



JR東日本ステーションリテイリングが2007年に開業したエキュート立川

その後、2018年に(株)JR東日本リテールネットと合併。合併時、駅ナカ商業施設「エキュート」等は、JR東日本ステーションリテイリングが大宮、品川、立川、日暮里、東京、万世橋を運営し、JR東日本リテールネットが品川サウス、上野、京葉ストリートを運営していた。

2006年(平成18年) (株)JR東日本ウォータービジネス設立

従来、駅構内やホーム等の自動販売機における飲料の販売は、商品の仕入れから自動販売機のオペレーションまで各グループ会社が個別におこなっていたが、JR東日本は、グループ内の飲料事業を再編・一元化し、スケールメリットを発揮させることでコストダウンと売上拡大を図るべく、2006年に飲料事業の戦略子会社として、(株)JR東日本ウォータービジネス(以下:WB社)を設立した。この事業再編に伴い、東日本キヨスク(株)が展開

2006	2007	2009	2010	2011	2013	2015	2016	2017	2018	2021	2022	
(株)JR東日本ウォータービジネス設立	東日本キヨスク(株)から(株)JR東日本リテールネットへ社名変更	JR東日本リテールネット労働組合へ改称	東北新幹線八戸～新青森間開業	九州新幹線博多～新八代間開業	超過勤務手当の割増率の引き上げ	北陸新幹線長野～金沢間開業	ベアスアップ要求有額回答	北海道新幹線新青森～新函館北斗間開業	ベアスアップ要求有額回答	(株)JR東日本クロスステーション誕生	JR東日本クロスステーション労働組合へ改称	鉄道開業150年
	Fスタッフを社員持ち株会社の入会資格者とする	女性のつどい開催	J Retailer	デベロッパ営業部発足	東北新幹線はやぶさ最高速度を320km/hに向上	ベアスアップ要求有額回答	ベアスアップ要求有額回答	TRAIN SUITE 四季島への運行開始	ベアスアップ要求有額回答			

していた飲料自動販売機事業もWB社に移管された。

JR東日本管内の駅構内にある飲料自動販売機はWB社が原則管理することとなり、これまで単一メーカーの商品しか取り扱いのなかった駅構内の自動販売機を、売れ筋等に合わせてメーカーを限定しない品揃えに変更した。WB社管轄の自動販売機は、「acure」のブランドロゴを表記している。

その後、2018年に、自動販売機という独自の事業領域で取引先も多岐に渡るため、独立を維持する形で、(株)JR東日本リテールネットの100%子会社となった。

2006年(平成18年)～2008年(平成20年)キヨスク改革の実施

JR東日本のグループ施策にもとづき、2006年の飲料自動販売機事業のWB社への移管及び2007年の物流子会社である東日本駅配送サービス(株)の分離がおこなわれた。東日本キヨスク(株)ではキヨスク店舗の赤字を飲料事業の収益でカバーしていた状況であったことから、この再編は労使双方にとって大きな痛手であり、「キヨスク改革」が会社より提案されることとなった。

改革の第一段階(レッツ改革)として、キヨスク事業の人件費削減を目的に、社員、レギュラー社員、エキスパート社員は販売業務に従事しないこととし、管理業務(ブロックマネージャー制)に携わる体制に移行するため、希望退職の選択肢が提案された。対象は満40歳以上として、首都圏では2006年11月に、地方支店では2007年8月に希望退職を募集し、874名(うち販売職は479名)が希望退職に応じた。2016年度はこの退職支払経費が発生したことから、40億円を超える赤字となったが、その後、業績はV字回復することとなった。また、この希望退職の影響で2007年4月には首都圏で約1/3の178店舗が一時休業となった。

改革の第二段階として、「人事・賃金制度の見直し」(社員群・勤務制度・等級や賃金制度の見直し、業績連動一時金の導入等)が提案された。人事・賃金制度の見直しに関する団体交渉では、一部組合の要求に沿った修正提案がされたものの、制度の根幹を成す『定期昇給・昇格昇給・職務手当・退職金』などについて、組合として納得できるものではなかったことから、8回にわたる団体交渉を重ねたものの、交渉は決裂となり、2008年1月1日には労使合意のないままに制度移行がおこなわれた。しかし制度移行後においても、労使合意なく進めている現状を是としないことを確認したうえで、16回にわたる特別委員会を開催し、一部修正提案がおこなわれたことから、提案内容を了解とした。

※キヨスク改革は、第三段階として「地方6支店の事業運営体制見直し」(レッツ改革の地方支店での実施)、第四段階として「東京圏6支店の本社直轄化」(営業所化)が提案された。

2007年(平成19年)東日本キヨスク(株)から(株)JR東日本リテールネットへ社名変更

東日本キヨスク(株)は発足時、キヨスク営業が事業の中心であったが、駅構内ビジネスの環境変化に伴い、専門店やNEW DAYSの拡大など事業内容が大きく変わるなかで、社名が事業内容を正しく表せなくなっていた。このことから、創立20周年の節目を機に、(株)JR東日本リテールネットへ社名変更した。同時に、駅売店の愛称である「キヨスク」を「キオスク」へ呼称を変更した。『リテール』は小売業を指し、『ネット』はコンビニや専門店など、広がりつつある新しい事業を意味している。



会社発足当初よりその事業規模を拡大させてきた専門店舗

2007年(平成19年)社名変更に伴いJR東日本リテールネット労働組合に名称変更

会社の社名変更に伴い、対応する労働組合として、JR東日本リテールネット労働組合へと名称変更がおこなった。新たな略称はJリテール労組と定めたことにより、鉄道弘済会労働組合から継承されてきていたTKUという略称ではなくなった。

また、前述のとおり名称変更前後においては、会社も文字どおり「変革期」を迎えており、労使間において極めて多くの議論がおこなわれた時



2007年の第21回定期大会において、Jリテール労組へと名称変更となった

期でもあった。健全で安定した労使関係の確立は会社の飛躍に不可欠であるとして、労使関係の基本等の共通認識を「Jリテール労使憲章」としてまとめ、2007年5月に締結した。

2009年(平成21年)女性のつどい開催

(株)JR東日本リテールネットは女性の従業員が多い会社であることから、より女性にとって働きやすい職場を目指すこととし、全国から30名の女性組合員の参加のもと、ワーク・ライフ・バランス(～働き続けるために、働きやすい環境づくりのために～)をテーマとして「女性のつどい」を開催した。



第1回目となる女性のつどいの様子

つどいのなかでは、労働組合の役割やワーク・ライフ・バランスの概要説明のほか、ワーク・ライフ・バランスに関する制度の利用者へインタビューした内容を踏まえ、会社への要望事項等についてグループディスカッションをおこなった。参加者からは「悩みや課題について共有できた」「引き続き開催してほしい」などの声もあり、翌年以降も、定期的な開催をおこなうこととした。

2010年(平成22年)J-Retail、デベロッパー営業部を新設

J-Retailでは、デベロッパー事業を新たな経営基盤として成長させ、J-Retail主導の面開発を推進していくことから、2010年にデベロッパー営業部を新設した(あわせて、ニューデイズ営業部とキオスク営業部を統合し、コンビニエンス営業部としている)。先行して立ち上げていた、上野駅開発プロジェクト、東京エキナカ開発プロジェクト、品川駅開発プロジェクトは、この組織改正によってそれぞれ開業準備室と改められ、2010年度中に、「KeiyoStreet」、「エキュート上野」、「エキュート品川サウス」、がそれぞれ開業となった。



エキュート上野

2015年(平成27年)14年ぶりのベースアップ有額回答

2008年に導入された「一時金を中心とした会社業績の従業員還元に関する協定」において、一時金は業績連動とするものの、「ベ・アゼロを前提」という文言が含まれていた。その後、定期昇給水準や物価動向を踏まえて、賃金改善(ベースアップ)の要求をおこなうものの、会社はあくまで協定に則り、ベースアップではなく一時金で還元するという基本的なスタンスを崩さず、協定の文言がベア実施の足かせとなっていた。

2014年4月以降、消費増税や円安の影響を受け、物価上昇が顕著となっていたことを踏まえ、2015年春闘においても賃金改善要求をおこなったところ、第1回、第2回団体交渉の段階では回答保留という異例の会社回答であったが、第3回団体交渉において要求に対する有額回答が示された。回答額は、社員975円(平均基準内賃金額の0.19%)、Fスタッフ(エルダー)・Fスタッフ490円、Tスタッフ3円であり、ベア獲得は、14年ぶりであった。また、別途協定の見直しの団体交渉によって、足かせとなっていた「ベ・アゼロを前提」の文言を削除できたことは大きな成果であった。

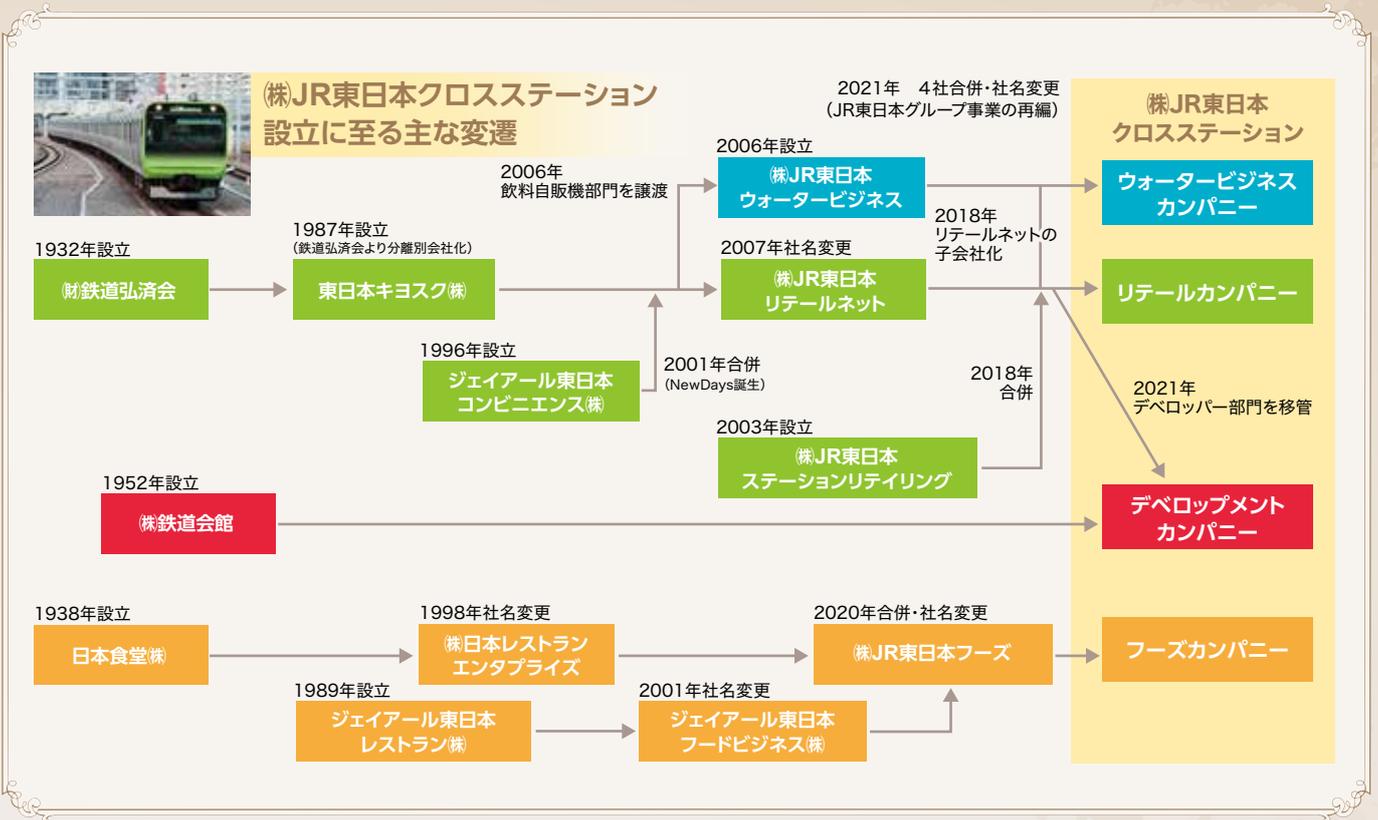
2016年以降も、ベア要求を継続的におこなった結果、2018年には再度ベア要求に対し社員1,000円、Fスタッフ(エルダー)・Fスタッフ500円、Tスタッフ5円の有額回答を獲得している。

2016年(平成28年)北海道新幹線新青森～新函館北斗間開業

東北新幹線は、2002年に盛岡～八戸間が延伸開業。これに伴い、全席指定の速達列車として「はやて」が設定された。その後、2010年には八戸～新青森間が開業し、これにより東北新幹線(JR東日本区間)が全線開業となった。2013年にはE5系



E5系新幹線「はやぶさ」(盛岡駅)



「はやぶさ」が最高速度320キロ運転を開始している。
 2016年には北海道新幹線区間である新青森～新函館北斗間が開業。青函トンネルを含む新中小国信号場～木古内駅間の区間は、在来線との共用区間としての開通であった。北海道新幹線の開業により、東京～新函館北斗間は最速3時間57分となっており、今後2030年度の札幌延伸を計画している。

2021年(令和3年) (株)JR東日本クロスステーション誕生

(株)JR東日本クロスステーションは、JR東日本の駅の価値最大化を目指すとりくみとして、エキナカで事業運営をおこなう(株)JR東日本リテールネット、(株)JR東日本フーズ、(株)JR東日本ウォータービジネス、(株)鉄道会館の4社が合併して誕生した。合併と同時に社内カンパニー制を導入し、旧会社に対応する形で「リテールカンパニー」「フーズカンパニー」「ウォータービジネスカンパニー」「デベロップメントカンパニー」を設けている。
 新会社では、エキナカ全体でお客さまの理解をより一層深め、また業態の垣根を越えた新規業態開発や店舗の最適配置を図り、新たなビジネスの発信と価値創造に努めるとしている。また、社名には、各業態や事業を“クロス”し、お客さまの暮らしに“クロス”してお客さまとつながる、という意味が込められている。

2021年(令和3年)LINE公式アカウント及びWebサイト開設

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、社会にも行動変容がもたらされたが、もとよりコロナ禍以前から、勤務形態の多様化、ライフステージの多様化に対応するワークライフバランスの諸制度の充実などもあいまって、直接対面することや集まってしまうことが年々困難になる傾向にあった。こうした状況を踏まえ、労働組合活動においても活動のオンライン化を進めることとした。



当初、Webサイトの開設にむけて検討を重ねていたものの、組合員が何度もWebサイトを訪れることは考えづらく、ページ更新の周知等が都度されなければ、過疎化してしまうことは明らかであることから、2021年、Webサイト開設の前段として、LINE公式アカウントを開設。その後、2022年に公式Webサイトも開設した。LINE公式アカウントには2023年1月1日現在、640名の組合員のみなさんにご登録いただいている。

2021年(令和3年) JR東日本クロスステーション労働組合に名称変更

(株)JR東日本クロスステーションの設立に際し、労働組合では、組合員の範囲や組合活動等を定める労働協約の改訂・締結にむけて、会社と議論を進めてきた。



Jリテール労組は、2021年第35回定期大会においてJR-Cross労組へと名称を変更した。

2021年4月の会社合併に際しては、フーズカンパニー(株)JR東日本フーズ)には、対応する労働組合としてJR東日本フーズ労働組合があったことから、フーズカンパニーを除く3つのカンパニーと統括本部を組合員の範囲と定めた。しかし、合併前の(株)鉄道会館と(株)JR東日本ウォータービジネスには労働組合がなかったことから、(株)JR東日本リテールネットの従業員のみで構成されるリテールカンパニーのみユニオンショップ制とし、デベロップメントカンパニー・ウォータービジネスカンパニー・統括本部は、加入脱退が自由であるオープンショップ制として整理せざるを得なかった。

JR-Cross発足を受けて、10月の第35回定期大会において、JR東日本リテールネット労働組合から、JR東日本クロスステーション労働組合(略称:JR-Cross労組・英略称:JCU)へと名称を変更。その後、コーポレートカラーやロゴマークの策定など、少しでも組合員のみなさんに親しみをもってもらうためのとりくみを実施している。また、同じ会社の労組であるJR東日本フーズ労働組合との連携の強化にむけてとりくみをおこなっている。

参考文献

- ・宮本 淳夫(2008)『JR東日本リテールネット 躍進する「エキナカ小売業」』
- ・白川 保友・和田 洋(2017)『JR東日本はこうして車両をつくってきた 多種多様なラインナップ誕生の舞台裏』
- ・高木 豊(2022)『知られざる国鉄遺産「エキナカ」もう一つの鉄道150年』日刊工業新聞社

働きながら 介護を続けるコツ



今回は、JR-Crossの介護制度と利用における注意点を特集し、制度利用においては、

- 収入への影響が小さい「所定外労働の制限」で乗り切れないか？
- 介護保険等を利用して、プロの手を借りて乗り切れないか？

を考えてみることをお勧めさせていただきました。

このことから、今回は、「働き続けるために何をを使う？」という観点から、介護保険サービスの内容について特集します。

第3回 介護保険サービスを知る

介護保険のサービスを利用できる人

65歳以上の人

寝たきりや認知症等により、介護を必要とする状態（要介護状態）になったり、家事や身支度等の日常生活に支援が必要な状態（要支援状態）になった場合

40歳から64歳までの人

初老期の認知症、脳血管疾患等老化が原因とされる病気（※特定疾病）により要介護状態や要支援状態になった場合

◎要介護度の区分と身体状況

要介護認定は、介護の度合いに応じて「要支援1～要支援2」「要介護1～要介護5」の7段階に分けられます。

区分	心身の状態
要支援1	基本的な日常生活動作は自分でおこなえるが、一部動作に見守りや手助けが必要。
要支援2	筋力が衰え、歩行・立ち上がりが不安定。介護が必要になる可能性が高い。
要介護1	日常生活や立ち上がり、歩行に一部介助が必要。認知機能低下が少しみられる。
要介護2	要介護1よりも日常生活動作にケアが必要で、認知機能の低下がみられる。
要介護3	日常生活動作に全面的な介助が必要で、立ち上がりや歩行には杖・歩行器・車いすを使用している状態。認知機能が低下し、見守りも必要になる。
要介護4	要介護3以上に生活上のあらゆる場面で介助が必要。思考力や理解力も著しい低下がみられる。
要介護5	日常生活全体で介助を必要とし、コミュニケーションを取るのも難しい状態。

主な介護保険サービス

自宅等への訪問型のサービス

●訪問介護（ホームヘルプ）

利用者ができるだけ自立した生活を送れるように支援することを目的としています。食事や排せつの介助をおこなう「身体介護」や、買い物代行・家事全般のサポートをおこなう「生活援助」があります。

●訪問入浴介護

自宅にある浴槽での入浴が難しくなった人向けのサービスです。入浴専用車両が浴槽を持参して自宅を訪問し、入浴介助をおこないます。

●訪問看護

医療行為や人工呼吸器の管理などのサービスが受けられます。

●定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日中・夜間を通じて1日複数回の定期訪問と緊急時の随時訪問による介護と看護を一体で提供するサービスです。

自宅から通って利用するサービス

●通所介護（デイサービス）

利用者が送迎車を利用してデイサービスセンターを訪れ、センター内で食事やリハビリテーション、レクリエーションなどのサービスを利用します。

●通所リハビリ（デイケア）

利用者が送迎車を利用して介護老人保健施設や病院などに通って、専門員によるリハビリを受けるサービスです。

泊りで利用するサービス

●短期入所生活介護（ショートステイ）

数日から2週間ほど入所施設で過ごします。食事や入浴介助などの日常生活上の支援やリハビリを受けるのが基本的なサービス内容になります。

●短期入所療養介護（ショートステイ）

介護老人保健施設や病院などで過ごします。短期入所生活介護のサービス内容に加えて、医師や看護師による医療ケアを受けることができます。

訪問・通い・泊まりを組み合わせるサービス

●小規模多機能型居宅介護

利用者の心身の状況、環境、希望にあわせて、1つの拠点で訪問・通所・短期入所の3つのサービスを組み合わせる利用できるサービスです。

生活環境を整えるためのサービス

●福祉用具貸与

車椅子や特殊ベッドなどの福祉用具のレンタル費用を補助するサービスです。

●特定福祉用具購入

ポータブルトイレや入浴補助用具などのレンタルに適さない福祉用具の購入の際に介護保険の適用を受けられるサービスです。年間上限10万円。

●住宅改修

要介護者の自宅に、手すりの取り付け・段差解消などのバリアフリー改修をおこなう場合、20万円を限度に工事費用の7～9割が給付されるサービスです。

施設等で生活するサービス

●介護老人福祉施設入居者生活介護（特別養護老人ホーム）

特別養護老人ホームに利用者を長期間受け入れ、食事や排せつの介護、リハビリやレクリエーションなどを提供するサービスです。

※特別養護老人ホームは、24時間の介護サービスの提供を目的とした施設です。「要介護3」以上が入居条件です。

●介護老人保健施設入居者生活介護（老健）

介護老人保健施設に利用者を一定期間受け入れ、医療処置と食事や排せつの介護などを提供するサービスです。

※介護老人保健施設は、在宅復帰と在宅療養支援をおこなうための施設です。原則65歳以上で「要介護1」以上の方が対象です。

●介護療養型医療施設入居者生活介護（療養病床等）

介護療養型医療施設に利用者を受け入れ、医学管理下におけるリハビリと食事や排せつの介護などを提供するサービスです。

※介護療養型医療施設は、長期療養を必要とする比較的重度の要介護者に対し、介護や必要な医療を提供する施設です。（2023年度に廃止）

●介護医療院

長期にわたり療養が必要な方を受け入れ、医療的ケアと介護を一体的に提供するサービスです。

※介護医療院は、要介護者の長期療養と生活支援を目的とした施設です。原則65歳以上で「要介護1」以上が入居条件です。

まとめ

● 介護保険のサービスには、居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービスなどさまざまな種類があります。

● まずは、どのようなサービスがあるのか理解して、利用したいサービスは何かを考えてみましょう。

次回、第4回では、実際にこれらのサービスを利用するには、どのように申請したら良いのか、どのように要介護認定を受けるのかなど、活用のポイントについて特集します。

2021年度決算報告

2021年度のJR-Cross労組の財政状況と決算報告については、次の内容で会計監査委員による監査（第1回：3月23日・第2回：9月7日）及び公認会計士による監査（9月15日）を実施し、第36回定期大会で報告のうえ承認を得ました。

2022年8月31日現在における正味財産の残高は476,925,911円となっており、前年度末（2021年8月31日現在）と比較すると、25,790,344円の減少となりました。

内訳としては、一般会計で3,138,847円の増加、特別会計で28,929,191円の減少（闘争積立金会計が28,931,478円減少、犠牲者救済積立金会計で2,287円増加）となりました。

闘争基金の減少については、2021年度の活動が、一般会計で運用ができなくなったことから、第35回定期大会で承認されていた闘争基金の取り崩し（予算は30,000,000円）を実施し、一般会計に組み入れたことによる減少となります。

預金残高の内訳は

一般会計	27,481,676円
闘争積立金会計	422,204,643円
犠牲者救済積立金会計	27,239,592円
合計	476,925,911円

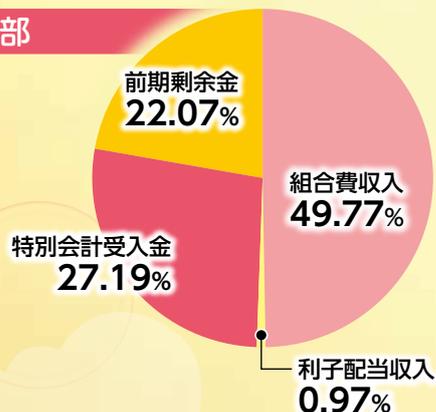
となっています。

総合貸借対照表 2022年8月31日現在（単位：円）

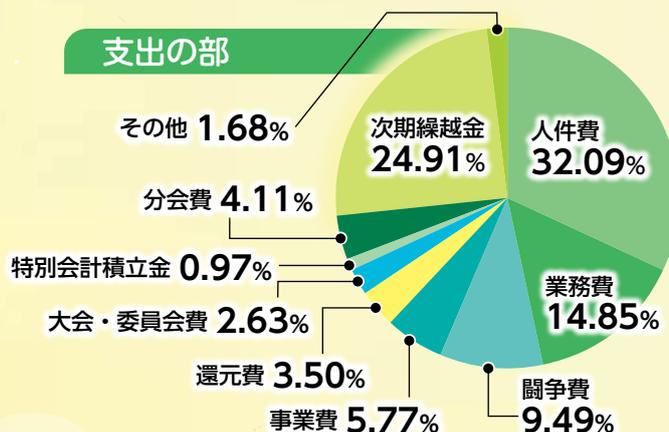
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	0	次期繰越金	476,925,911
普通預金	34,019,177	〔一般会計〕	〔27,481,676〕
定期預金	409,396,734	〔闘争積立金会計〕	〔422,204,643〕
出資金	33,510,000	〔犠牲者救済積立金会計〕	〔27,239,592〕
預け金	0		
仮払金	0		
合計	476,925,911	合計	476,925,911

「出資金」の33,510,000円は、銀行預金より金利の高い中央労働金庫への出資金です。

収入の部



支出の部



2021年度一般会計収支計算書

2021年9月1日～2022年8月31日(単位:円)

款	項	予算(A)	決算(B)	増減(B)-(A)
収入の部				
組合費収入		80,290,000	54,903,860	▲25,386,140
	正社員組合費	26,130,000	26,807,000	677,000
	地域限定正社員組合費	19,890,000	19,935,850	45,850
	Fスタッフ(エルダー)組合費	1,020,000	904,530	▲115,470
	Fスタッフ組合費	6,450,000	6,502,600	52,600
	Tスタッフ組合費	780,000	753,880	▲26,120
	臨時徴収組合費	0	0	0
	年末一時金分労働組合費	13,030,000	0	▲13,030,000
	夏季一時金分労働組合費	12,740,000	0	▲12,740,000
犠牲者救済資金	250,000	0	▲250,000	
利子配当収入		1,082,000	1,071,090	▲10,910
	一般会計	0	281	281
	闘争基金(B)	1,080,000	1,068,522	▲11,478
	犠牲者救済資金	2,000	2,287	287
雑収入		0	0	0
	財産処分収入	0	0	0
	雑収入	0	0	0
特別会計受入金		30,000,000	30,000,000	0
	闘争基金(B)	30,000,000	30,000,000	0
	犠牲者救済資金	0	0	0
収入の部合計		111,372,000	85,974,950	▲25,397,050
前期繰越金		24,342,829	24,342,829	0
合計		135,714,829	110,317,779	▲25,397,050

組合費収入

毎月及び一時金の際に組合員のみなさんから徴収させていただいている組合費等です。2021年度は、一時金からの組合費徴収をおこないませんでしたので、大幅な収入減となっています。

利子配当収入

預金等の利息収入です。

特別会計受入金

闘争基金から3千万円を取り崩しました。(闘争基金の現残高は4億2千万円となっています。)

款	項	予算(A)	決算(B)	増減(B)-(A)
支出の部				
人件費		36,100,000	35,403,130	▲696,870
	基準賃金	18,170,000	18,102,490	▲67,510
	一時金	7,420,000	7,283,953	▲136,047
	割増手当	0	0	0
	雑給	4,640,000	4,678,060	38,060
	厚生費	5,870,000	5,338,627	▲531,373
業務費		23,970,000	16,385,450	▲7,584,550
	人件費	440,000	49,182	▲390,818
	旅費	10,140,000	7,362,534	▲2,777,466
	宿泊補助費	200,000	136,260	▲63,740
	会議費	3,800,000	802,123	▲2,997,877
	通信費	160,000	85,377	▲74,623
	印刷費	0	0	0
	図書費	330,000	277,416	▲52,584
	渉外費	0	0	0
	交通費	3,020,000	2,396,765	▲623,235
	事務費	4,990,000	4,643,524	▲346,476
	雑費	890,000	632,269	▲257,731

人件費

専従役員の人件費等です。

業務費

単組執行委員会や、各専門部会、職場巡回に関わる費用、事務所経費、業務用交通費等です。

闘争費	闘争費	15,570,000	10,467,274	▲5,102,726
	一般会費	15,000,000	10,084,952	▲4,915,048
事業費	教育費	570,000	382,322	▲187,678
	宣伝費	11,680,000	6,362,964	▲5,317,036
	文化体育費	840,000	1,138,923	298,923
還元費	還元費	9,340,000	5,224,041	▲4,115,959
	分会補助費	1,500,000	0	▲1,500,000
設備費	還元費	4,550,000	3,862,000	▲688,000
	分会補助費	2,000,000	1,300,000	▲700,000
	器具費	2,550,000	2,562,000	12,000
大会費	器具費	0	0	0
	備品費	0	0	0
	修繕費	0	0	0
	人件費	2,980,000	2,223,390	▲756,610
委員会費	旅費	30,000	0	▲30,000
	宿泊補助費	1,140,000	830,090	▲309,910
	会議費	0	0	0
	資料費	1,280,000	916,780	▲363,220
一般会議費	資料費	530,000	476,520	▲53,480
	人件費	2,340,000	677,374	▲1,662,626
	旅費	40,000	6,837	▲33,163
	宿泊補助費	1,190,000	401,708	▲788,292
監査費	会議費	0	0	0
	資料費	1,110,000	268,829	▲841,171
	人件費	0	0	0
	旅費	890,000	575,371	▲314,629
雑支出	旅費	20,000	9,573	▲10,427
	宿泊補助費	550,000	278,844	▲271,156
	会議費	0	0	0
	資料費	320,000	286,954	▲33,046
特別会計積立金	監査費	460,000	425,141	▲34,859
	犠牲者救済資金	850,000	850,000	0
	闘争基金(B) 利子収入	1,332,000	1,070,809	▲261,191
分会費	犠牲者救済資金利子収入	250,000	0	▲250,000
	正社員分会費	1,080,000	1,068,522	▲11,478
	地域限定正社員分会費	2,000	2,287	287
	Fスタッフ(エルダー)分会費	4,590,000	4,533,200	▲56,800
	Fスタッフ分会費	1,550,000	1,554,400	4,400
	Tスタッフ分会費	1,530,000	1,521,200	▲8,800
予備費	特別分会費	180,000	146,400	▲33,600
	特別分会費	1,150,000	1,148,600	▲1,400
支出合計	180,000	162,600	▲17,400	
次期繰越金	0	0	0	
合計	105,312,000	82,836,103	▲22,475,897	
	30,402,829	27,481,676	▲2,921,153	
	135,714,829	110,317,779	▲25,397,050	

闘争費

春闘や年末一時金交渉などの費用です。

事業費

ユニオンスクールやフォーシーズンの発行費用などです。

還元費

単組から各分会への年2回の還元金と毎月分会費が4万円に満たない分会への差額補助です。

大会費

第35回定期大会(2021年10月開催)に関する費用です。

委員会費

第70回(オンライン開催)及び71回単組委員会に関する費用です。(2022年3月・7月開催)

一般会議費

分会長会議などに関する費用です。

分会費

毎月組合員1名につき200円を各分会に分会費として支出しています。



2023年はうさぎ年。うさぎといえば、大きく「飛躍」し、「向上」といったイメージがあります。そんな新年を迎えたなかで、分会三役のみなさんに今年の抱負を発表していただきました！

- ① 組合活動での抱負
- ② プライベート(もしくは仕事)での抱負

本分会

副会長 石渡 恵



- ① 今年こそは分会レクリエーションを開催し、皆さまとの交流を深めます!!
- ② 今年こそはウクレレを弾けるようにガンバル♪ Slow&Easy♪

分会長 御田 真幸



- ① 組合員の皆さまと分会また組合員の皆さま同士が交流できる場を増やします。
- ② サ活はじめます☺

書記長 浅見 友彦



- ① 組合員の皆さまが相談しやすい職場環境及び分会体制にしていけるようにします。
- ② 社内のドラクエウォーク勇者とのリアルイベントを開催したい!

東京分会

副会長 海老原 佑城



- ① 12エリアに足を運んで組合員の方々より沢山のご意見等をお伺い出来るように取り組んでいきます!
- ② 昨年よりUFOキャッチャーにて競走馬を捕獲し家に入厩させる取り組みを行っています。今年も沢山捕獲して組合員の方々へ分配出来るように頑張ります。

分会長 澁谷 真一



- ① 専門店を多く巡回して話を聞きに行く。
- ② 痩せたい。

書記長 白田 航一



- ① 組合員にとって身近な存在となれるよう多くの職場を回り、話をしていきます。
- ② 体力強化のために走り込みに努めます!!

横浜分会

副会長 唐沢 佐江



- ① この会社で働いて良かったと一人一人が思えるように、組合員との交流を深めてまいります。
- ② 次元を問わず、推し活を充実させます!

分会長 鏡 哲也



- ① 今年は多くの巡回先を回り、組合員の方と会ってお話し、意見を頂けるよう努めたいと思います。
- ② 運動不足解消の為に、一日一万歩目指し頑張りたいと思います。

書記長 速水 朋史



- ① 組合員の意見を一つでも多く受け取り、より働きやすい職場へと結びつけます。
- ② 休みの日を充実させられるような趣味を見つけます。

新宿分会

副会長 鹿兒島 航



- ① 今年の組合活動の抱負は自分自身楽しかった思い出があるので、レクなど組合員の皆様と交流する機会を作ることです。こんなことがしたい!など鹿兒島までご意見をお聞かせください!
- ② 最近お腹が出てきたので(笑)ダイエットします!

分会長 高橋 剛



- ① 11月から新宿分会は新体制となりました。組合員の皆さまに分会を身近に感じていただけるよう感染対策を十分にとりながら積極的に職場に足を運び、新宿分会一丸となって活動していきます。
- ② ロックフェスにいきたいです。昨年、初めてフェスに行ったのですが感動しました。また、休日はラーメン屋巡りしているのでオススメのラーメン屋があったら教えてください!

書記長 矢口 郁代



- ① 新生☆新宿分会でも「全員野球!」で活動し、組合員の働きやすく、働き甲斐のある職場にしていきます♪
- ② 温泉に行けてないので、今年こそ温泉にいきます!今年もロマンスカーに乗って箱根温泉にいくぞ♪

八王子分会

分会長
宮地 博道

- 2023年は組合員の皆さまとの交流の場をつくっていきたくと思います。小規模なレクリエーションなど、実現に向けて頑張ります。
- 2022年はいよいよ保健指導が入るようになりましたので、2023年は健康第一で減量と減酒を心がけたいと思います…。

書記長
吉井 俊亮

- 最低でも1ヶ月に1回、定期的に職場巡回をおこなって職場意見を集約し問題解決に繋げられるように活動します。
- 走ることが大好きなので、2023年はハーフマラソンの完走を目指します。

大宮分会

副分会長
白井 真紀

- 引き続き積極的に職場へ伺い、皆さまの声をたくさん聞きます！
- 仕事もプライベートも、色々な出会いを大事にしていきたいです！

分会長
柏村 朋哉

- 組合員の皆さまの声に耳を傾け、皆さまの職場環境改善の一助となれるように努めます！
- 継続出来る趣味を模索します。おススメがありましたら教えてください！

水戸分会

副分会長
高崎 直樹

- 組合員の皆様の声をよく聞く。
- 健康でいられるよう、食生活等を改善する。

分会長
菊地 真夫

- コロナ禍が完全に終結したとは言い難いなかで、コロナ禍を言い訳にせず出来ることを考えて実行していく年にしたいです。
- 太りすぎてしまったので、中性脂肪をまず標準値以内に収める。そんな年にしていきたいと思ひます。

書記長
鈴木 隆史

- 組合員の皆様が、日々安定した生活が送れるよう、職場問題に耳を傾け改善できるように努力いたします。
- 大好きなビールの飲み過ぎでポッコリしてきたお腹を引っ込めます。

高崎分会

副分会長
村田 美穂

- 今年もできるだけ多く巡回できるようにする。
- いろんな所に出かけたいです。

分会長
南 昭浩

- 何か一つでも動画を撮影できたらと思います。
- 今年も新しい何かを始め、充実した1年にしていきたいと思ひます。

書記長
上松 弘幸

- なるべく多くの巡回に努めたいと思っております。
- 歓声が聞こえる状況になることを願いつつ、ライブ鑑賞をしたいと思ひます。

千葉分会

副分会長
根本 裕一

- ①なるべく多くの組合員に会って話が聞けるよう巡回を積極的に行う。
- ②ゴルフの上達!!

分会長
有吉 映

- ①2022年8月から分会年度が変わり、新任2名、三役も2名変更となりました。新たな体制で地盤を固め、着実に活動をおこなっていこうと思います。
- ②ゴルフを始めて約2年。なかなか上手くなりませんが、今年こそは根本副分会長と共にスコア100を切りたいです。

書記長
佐藤 翔太

- ①昨年は書記長になってようやく千葉支店全店舗に訪れることが出来ました。今年も一週り巡回し、組合員の皆さまと職場問題についてしっかり議論する時間をつくるように努力します。
- ②スーパー銭湯の新たな開拓10店舗を目指します。最近では岩盤浴でゆっくりと寝る時間が至福の時間となっています。新たな居心地がよい場所を見つけるために、スーパー銭湯巡りをしたいと思っています。

長野分会

副分会長
上野 大地

- ①ふらっと職場に立ち寄った時にも自然に組合員の皆さんから話を聞けるよう心掛けたいです。
- ②出不精なので意識して外に出るよう頑張りたいです。とりあえず暖かくなるまで待つけれども…。

分会長
手塚 康仁

- ①2022年度も「長野分会らしさ」は大切にしつつ、今まで出来なかったことにも挑戦していきます、少しでも組合員の皆さんの力になれるように取り組んでいきます。
- ②昨年はアウトドア好きの友人に誘われ、初めてキャンプをしたのですが、とても楽しく過ごすことが出来ました。今年もそういった楽しい経験が出来るよう、色々なことにチャレンジしていきたいです。

書記長
後藤 ゆかり

- ①今年も、周りの皆様に助けて頂きながら、お話を聞く機会が増やせるように、頑張ります。
- ②有観客のライブが増えてきたので、東京ドームに行ってもへこたれない体力をつけたいです。

新潟分会

副分会長
今井 恭子

- ①現場をたくさん回って、たくさんの声を聴きます!
- ②今年では自分のお店が先頭になって支店全体を牽引します!今年では年女、頑張ります!

分会長
金子 幸弘

- ①現場の声に耳を傾ける、そののみ。
- ②年男なので、いろんな意味で飛躍の年にしたいです。
(あと、年女の副分会長にも頑張ってもらいたいです)

書記長
玉木 ひとみ

- ①今年では分会レクリエーションができるようにします。
- ②今年では目標をクリアできるように日々頑張ります。



仙台分会

副分会長
藤田 聡視

- ①勤務地の関係で活動が福島県のみになっているので仙台でも忘れられないように活動したいと思います。
- ②自転車で新白河～郡山を往復します。

分会長
菊池 智則

- ①昨年分会長という大役を担うことになりましたが、職場巡回が思うように出来ませんでした。2023年は組合をもっと身近に感じてもらえるよう、直接店舗へ赴き、皆様とお会いしてご意見をいただきたいと思っています。
- ②昨年と同様、職場と国〇町の巡回を目標にハゲんでまいります。

書記長
牧野 真生

- ①昨年は分会役員のメンバーが大きく変わり、加えてコロナ禍の状況で組合員の皆さまとの距離が少し離れてしまったように感じています。
- ②今年では状況を見ながら積極的に巡回を行うとともに増加し続ける体重に歯止めをかけたいと思っています。

盛岡分会

副分会長
齊藤 有紀

- ①想像以上にコロナ禍が長引いていますが、引き続き協力し合い、状況を見ながら分会活動をしていきます。
- ②温泉によく行くのですが、青森県は人口比の公衆浴場数が日本一!車に風呂道具を常備する県民もいます。願わくば長期でゆったりと湯治したいですね～。

分会長
上家 友紀

- ①今年では、昨年いけなかった店舗を中心に足を運び組合員の声を聞き、一つでも多く問題解決をしていきます。
- ②今年こそは、キャンプをする!!音楽をかけて焚火をみながらお酒をゆっくり飲みたいです。それと星写真撮影。

書記長
對馬 麻美

- ①何事も愛情を持って、問題解決に向けて真剣に取り組みます。
- ②整理整頓。干した洗濯物から着ずに、きちんと畳んで仕舞います。





7つのまちがいがし

問題

上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。印刷のよごれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがいに入りません。

絵その1



きりとり

応募用紙

フォーシーズン No.123

絵その2



絵その1と比べてまちがっている所にマルをつけてください。

分会名

氏名

郵便番号

住所

●「フォーシーズン」に対する感想・要望等

オリジナル図書カードが当たる

このクイズの答えを応募用紙(コピーでも可)に記入し、郵便はがきに貼り付けて郵送してください。

正解者のなかから抽選で20名の方に「オリジナル図書カード」を贈ります。是非、クイズに挑戦してゲットしてください。

応募方法 応募用紙に、必要事項を記入のうえ、ハガキに貼り付けて郵送してください。LINE公式アカウントへのメッセージ送信(写真添付)も受け付けています。
(FAX・メールも可 FAX:03-6871-6617
mail: senjuu05@jretailu.or.jp)



あて先 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-9-2
JR東日本クロスステーション労働組合

締め切り 2023年4月30日(日)当日消印有効
※クイズ応募の際の個人情報、当選賞品の発送以外の目的には利用しません。

No.122の答え



①右端の灯ろう②右端の人ののはかま③千歳あめ④右から2人目の人の髪⑤その人の帯⑥左から2人目の人のネクタイ⑦左端の人のハンドバッグ

No.122の当選者は発送をもってかえさせていただきます。



Four Seasons

季刊123
2023.1. WINTER

JCU
JR-Cross 労組

JR東日本クロスステーション労働組合
TEL050-3644-2396
■発行人/平野 智也 ■編集人/中島 周一
頒価400円(組合員は組合費に含む)

CONTENTS

新年のあいさつ(執行部)	表紙裏
執行委員長 あいさつ	1
特集I「鉄道とエキナカと労働組合の歴史(後編)」	2
特集II「働きながら介護を続けるコツ 第3回」	6
ユニオン通信「2021年度決算報告」	7
投稿企画「2023年(令和五年)だよ! 分会三役の新年の抱負!」	10
7つのまちがいがし・CONTENTS	13

2023年の タロット占星術

牡羊座

全体運:何でも楽しもうとする心持ちで挑むと、運気が上がります。
仕事運:新しいことに挑戦すると視野が広がるでしょう。
金銭運:お金を使うなら、自分が成長できるものに使うと◎。
恋愛運:俯瞰して相手を見て。想いを改めて認識することができるでしょう。

3月21日～4月19日生まれ

雙座

全体運:自分のなかのこだわりを思いきって捨ててみるとよい年。
仕事運:本当に必要な作業なのかよく見返してみましょう。
金銭運:ワンランク上の自分を目指す。金運も高まっていくでしょう。
恋愛運:気になる人に出会えたら、その気持ちを前面に出してみてください。

6月22日～7月22日生まれ

天秤座

全体運:なかなかできない身の回りの整理を積極的にすると◎
仕事運:困っている人には迷わず手を差し伸べていると、よいことが。
金銭運:お金の流れが動きだす時、ほしかったものを改めて考えて。
恋愛運:余計なことは考えず、その時その時を丁寧に過ごすように。

9月23日～10月23日生まれ

山羊座

全体運:調子よく、フットワークを軽くしてどこにでも行くことができそう。
仕事運:助けてくれた仲間にも感謝の気持ちを伝えると◎
金銭運:身の回りを整理することで、金運をよい状態に。
恋愛運:堂々としていると、多くの人から注目が集まるでしょう。

12月22日～1月19日生まれ

牡牛座

全体運:一緒に活動している仕事仲間と絆を深めていけそうです。
仕事運:真面目に楽しむことが、次のよいきっかけになりそうです。
金銭運:計画どおりにお金が動かなくなってしまうことが。
恋愛運:新しい出会い、体験に自ら進んで挑戦してみると◎

4月20日～5月20日生まれ

獅子座

全体運:自分の才能や能力を持って余してしまいそう。
仕事運:うまく軌道に乗れば、活躍の場を一気に広げられるはず。
金銭運:お金の期待は持ち過ぎないようにして。ギャンブルは×
恋愛運:うまくいかない状況に、フラストレーションが溜まりそう。

7月23日～8月22日生まれ

蠍座

全体運:意思疎通がうまくいかない年。言葉に頼り過ぎないように。
仕事運:堂々とした態度が現実も変えていくでしょう。
金銭運:予定外の出費が必要になる。おめてたいことが続くかも。
恋愛運:表情で気持ちを伝えるようにするとよいでしょう。

10月24日～11月22日生まれ

水瓶座

全体運:身近にいてくれる人が、よいチャンスを作ってくれそう年。
仕事運:仕事仲間とプライベートな話をしてみると◎
金銭運:新しく貯金を始めてみて。いつの間にか、まとまったお金が。
恋愛運:将来について考えてみるとよい年でしょう。

1月20日～2月18日生まれ

双子座

全体運:長期的な目線で行動するように心がけるとよい年。
仕事運:いつも以上にきちんと整えるようにして、すると仕事運が◎
金銭運:使うべきところかどうか、脳内会議を開いてみて。
恋愛運:相手のためを思った行動をしてみるとよいでしょう。

5月21日～6月21日生まれ

乙女座

全体運:すぐに結果を求めてもうまくいかないことが多い年です。
仕事運:流れに乗ろうとする意識を持って。するとチャンスが!
金銭運:自分にとって心地よいお金の使い方ができそう年。
恋愛運:丁寧に接するようになると、より深い関係が。

8月23日～9月22日生まれ

射手座

全体運:周りの人が、よい結果に結びつけてくれそうです。感謝の気持ちを。
仕事運:新しい分野の仕事が広がることもあるでしょう。
金銭運:出費しにくい環境をつくるとうよいでしょう。さもないと…
恋愛運:まずは自分がどうしたいのか、考えてみて。

11月23日～12月21日生まれ

魚座

全体運:自分を変えるように努力してみて。そこからの学びが。
仕事運:肩に力が入っている自分に気付くかも。苦しい場面が続くことも。
金銭運:ケチケチせず、奉仕の気持ちでお金を使うとうよいことが。
恋愛運:自分を見つめ直して。そうすると、ギクシャクしにくくなるかも。

2月19日～3月20日生まれ